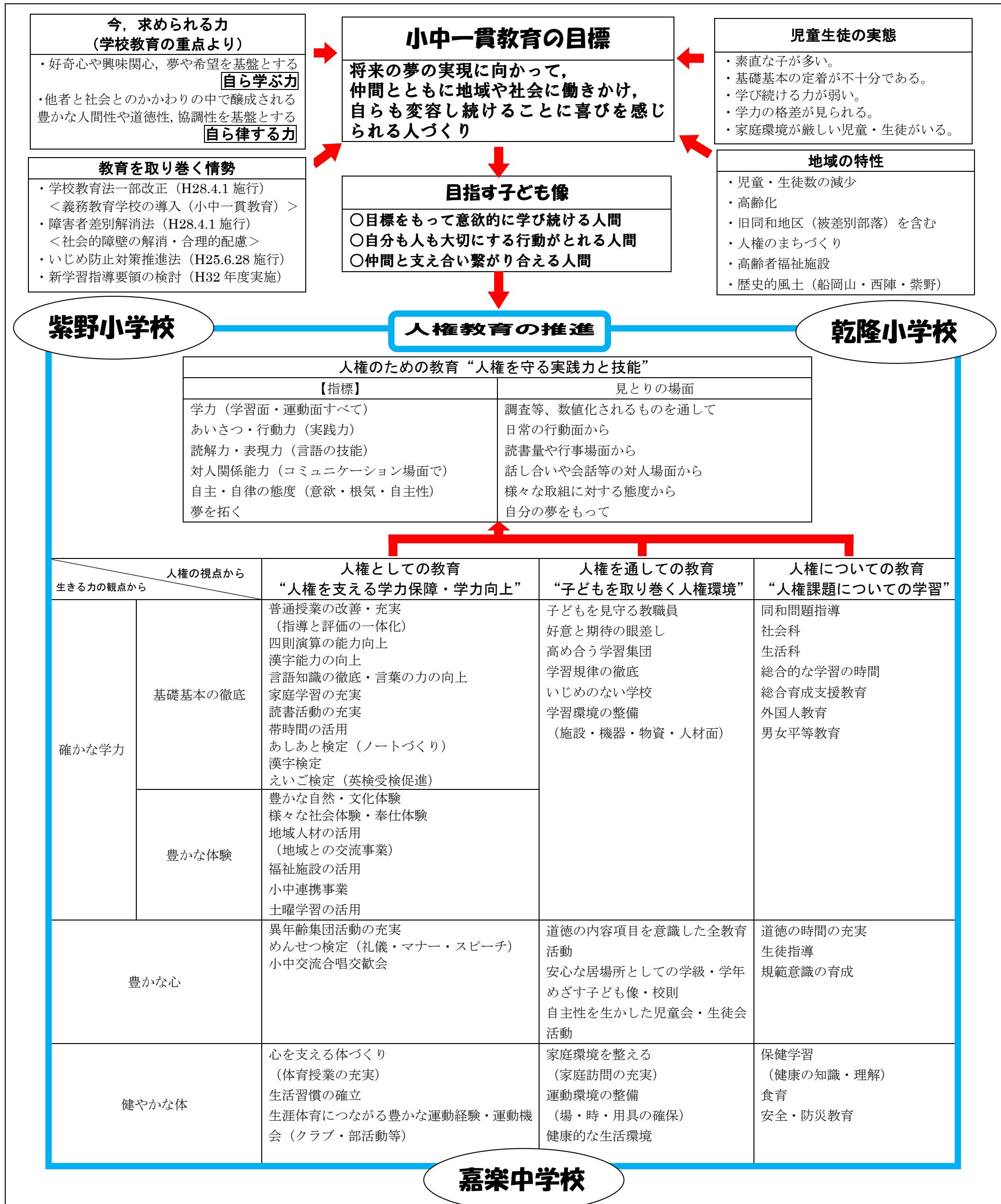


令和2年度 嘉楽中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図



軸となる取組・活動

学びの約束・ルール

| 項目 | 小1（1年） | 小2（2年） | 小3（3年） | 小4（4年） | 小5（5年） | 小6（6年） | 中1（7年） | 中2（8年） | 中3（9年） | | | | | | | |
|---|--------|--|---|--|--------|--|---------------------------|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|
| 学習に向かう姿勢（学習規律） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休み時間に次の時間の学習の準備を整える。 | | | | | | | チャイムですぐに学習を始められるように準備をする。 | | | | | | | | | |
| 相手を意識した話し方・聴き方・学び合い | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相手を見て終わりまで | | 大事なところを落とさず | | 目的や意図に応じて的確に | | 自分の考えをもち主体的に話し、聞き合う事で学び合う | | | | | | | | | | |
| 学びのあしあとを残すノート作り | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【ノートの基本】 ①ていねいな字で濃く書く。②日付・ページ数を書く。③学習のめあてをきちんと書き、めあてに対する振り返りをする。④色を変えるなどして、分かりやすくまとめる。⑤下書きをしく。 | | | 【ノートの基本】をふまえた上で大事なことを書き足す。めあてに対する振り返りを書く。 | | | 【ノートの基本】をふまえた上で各教科、考察や学習のポイント、先生や友達の発言を付け加えるなどして、自分の学習のあしあとを残し、見直しに活用できるノート作りをする。 | | | | | | | | | | |
| 自学自習の姿 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 宿題や読書を進んでする。 | | 宿題や読書、自主学習を進んでする。 | | 宿題や読書、自主学習に自ら創意工夫して取り組む。 | | | | | | | | | | | | |
| きまり（ルール）を守る姿勢 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| あいさつ | | 大きな声で | | 目を見て・心をこめて | | 自らすすんで | | | | | | | | | | |
| 時間 | | ベルの合図を守り行動 | | 時計を見て行動 | | 自ら時計を見て行動 | | 見通しをもって行動 | | | | | | | | |
| きれいに | | 身の回りをきれいに | | 学校をすすんできれいに | | 地域社会をすすんできれいに | | | | | | | | | | |
| モノを大切に | | 自分のモノを | | 友達のモノも | | 学校のモノも | | 公共のモノも | | | | | | | | |
| 人を大切に | | やさしい言葉づかい | | 思いやりのある行動 | | 相手のことを考えた行動・言動 | | 他者理解をもとにした集団づくり | | | | | | | | |
| 人を大切にする力 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・友達と一緒になかよく遊ぶことを楽しむ。 ・相手の話を最後まで聞く。 ・「ごめんね。」「ありがとう。」を言う。 ・ふわふわ言葉を使って、話すようにする。 | | ・友達と一緒になかよく遊べる遊びをみんなで考えて遊ぶ。 ・知っている人には大きな声であいさつができる。 ・ふわふわ言葉を使って、話すようにする。 | | ・みんなで学年やクラスの目標（約束）を話し合って考える。 ・相手の思いや考えを受け入れる。 ・解決につながる言葉を自分から言う。 | | ・みんなで話し合って決めた学年やクラスの目標（約束）を意識して守る。 ・笑顔であいさつができる。 ・その場や相手に合った言葉で自分の思いを話そうとすることができる。 | | ・高学年として、学校全体や友達のために、自分ができることは何かを考え行動しようとする。 ・相手の思いや考えをイメージし、行動する。 ・自分でなく、集団の一員として解決につながる行動をする。 | | | | | | | | |
| ・小学校の最高学年として、学校全体や地域、保護者の人や友達のために自分ができることを率先して取り組む。 ・誰に対しても自分からあいさつができる。 ・お互いに相手のことと思いやった言葉で話すことができる。 | | ・一人一人の違いを受け入れ、お互いを大切にする。 ・誰に対しても自分からあいさつができる。 ・お互いに相手のことと思いやった言葉で話すことができる。 | | ・自他の違いを認め、人の喜びや悲しみを共感的に受け止める。 | | ・自分を大切にすると共に、人の気持ちや立場を尊重した行動をとる。 | | | | | | | | | | |

小中一貫教育推進体制

嘉楽中ブロック小中連携拡大企画委員会

| 小中連携企画委員会 |
|-----------------------------------|
| <役割> 小中一貫教育の全体方針を立て、各部の動きを総括する |
| <メンバー> 四校の校長及び小中連携主任（教務主任） |

嘉楽中ブロック研究主任会

| |
|------------------------------------|
| <役割> |
| 普通授業の充実を目指して、各校の研究成果をブロック内の学校に生かす。 |
| <メンバー> 四校の研究主任 |

嘉楽中ブロック人権主任会

| |
|--------------------------------|
| <役割> |
| 人権教育の充実を目指して、各校の具体的な取組を相互に生かす。 |
| <メンバー> 四校の人権教育主任 |

嘉楽中ブロック生徒指導・補導主任

| |
|--|
| <役割> |
| 問題行動対応だけではなく、“攻めの生徒指導”を実現するために、各校の具体的な取組の課題や成果を交流し、ブロック内の児童・生徒の健全な育成を図る。 |
| <メンバー> 四校の生徒指導主任及び補導主任 |

具体的な取組

- 研究発表会の交流
- ブロック内での校内研究の公開
- 各校の取組概要の共通理解
- 学習のきまりの共有
- 各種調査の結果公開

具体的な取組

- 人権学習の授業公開
- 同和問題指導の校内授業研の公開
- 人権参観等の取組公開
- 小中合同人権研修

具体的な取組

- 地域生徒指導連絡協議会
- 定例会による情報交換
- 嘉楽中学校区小中交流合唱交歓会

具体的な取組（全体）

- 小中合同夏季研修会
- 嘉楽中学校オープンスクール（中学校の体験学習・部活動）
- 小学校保護者向け進路説明会
- 卒業生の進路状況説明会（校内研修）
- 行事等における参観（相互交流）
- キャリアパスポートの有効利用（小小・小中連携）
- 学校のきまりの統一
- 小規模校のよさを生かした取組

家庭・地域との連携・協力に向けた取組

- 学校だよりの地域回覧
- 中学校ブロック内での学校だよりの交流
- 地域生徒指導連絡協議会のにおける、学校評価アンケートの結果交流
- 地域生徒指導連絡協議会の合同事業
- 学校HPのリンク